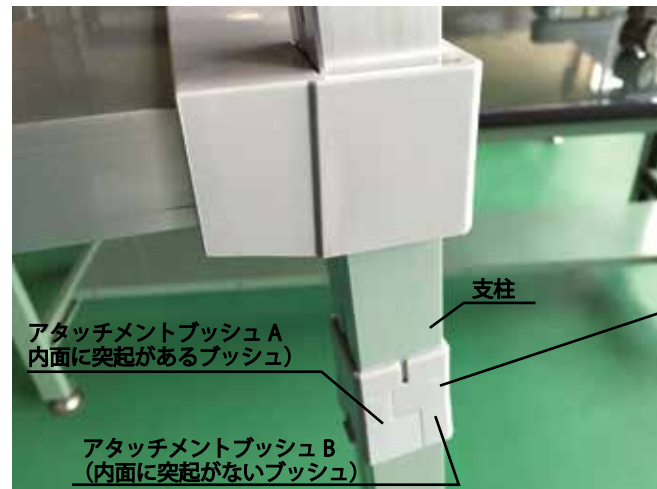


【Mr.Aluman 組立てのポイント】

【お客様へ】

Mr.Aluman は製品の強度【剛性】を高めるために棚板およびフレームの樹脂部の嵌合（はめあい）を多少“かため”に設計しております。それに伴い製品や部材の破損なく正しく組立ていただくためにこの「Mr.Aluman 組立てのポイント」を付属させていただいております。
間違った組立て方を行うと製品や部品が破損する場合がありますので、この「Mr.Aluman 組立てのポイント」と組立てに伴う「注意事項」を良く読んで正しく組立ててください。
組立てに際してはプラスチックハンマーやゴムハンマーをご用意ください。

組立順序 1：設置位置の決定

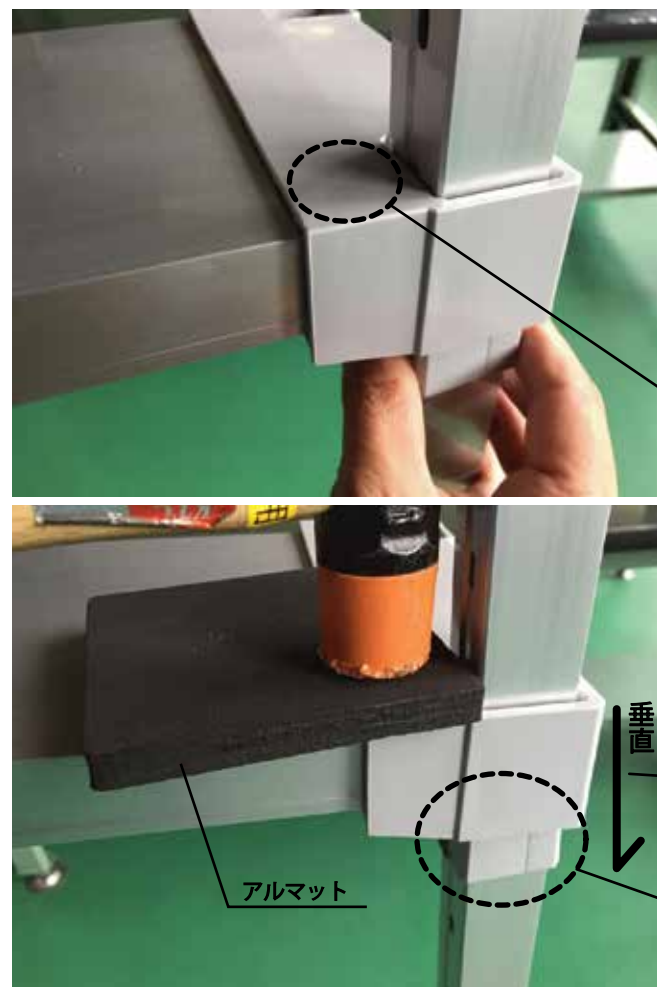


最初に支柱の穴部に合わせて棚板やフレームを設置したい位置を決めます。次にアタッチメントブッシュ A（内面に突起があるブッシュ）の突起部を決めた支柱の穴部にはめ込み、下図のように支柱をアタッチメントブッシュ A とアタッチメントブッシュ B とで挟み込みます。

注意）
アタッチメントブッシュは支柱と隙間がないようにピッタリと挟み込んでください。
支柱とアタッチメントブッシュに隙間があると棚板やフレームをはめ込む際にブッシュが外れてしまったり、アタッチメントブッシュの突起部の破損につながる場合があります。

※説明画像は全て棚板の図です。フレームの組立てにおいても同様の手順で行ってください。

組立順序 2：棚板及びフレームの仮固定



次に棚板やフレームを固定するための仮固定を行います。左図のようにアタッチメントブッシュが開かないように指で押さえながら棚板やフレームをプラスチックハンマーやゴムハンマーでアタッチメントブッシュの先端が食い込むまで叩き、仮止め固定を行います。（仮止め固定は全てのアタッチメントブッシュにおいて行ってください）必要に応じて付属のアルマットをご活用ください。

注意）
アタッチメントブッシュが開いていると仮止め固定ができずアタッチメントブッシュの突起部が破損する原因となります。

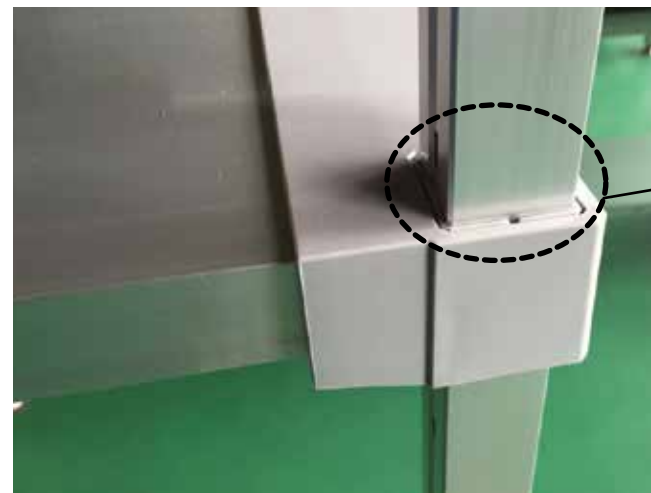
注意）
ハンマーで叩く際には必ず左図に示す位置を叩いてください。図に示す以外の位置を叩くと部材の破損につながる原因となりますので、**絶対におやめください。**

注意）
棚板やフレームを仮止め固定する際はアタッチメントブッシュの高さ位置が全て同じ高さ位置であることを確認してください。高さ位置がずれている状態で仮止め固定をすると部材の破損の原因になります。

注意）
棚板やフレームを支柱と垂直に叩くとスムーズに仮止め固定ができます。

注意）
図のようにアタッチメントブッシュの先端が食い込むと仮止め固定が完了です。仮止め固定は全てのアタッチメントブッシュにおいて行ってください

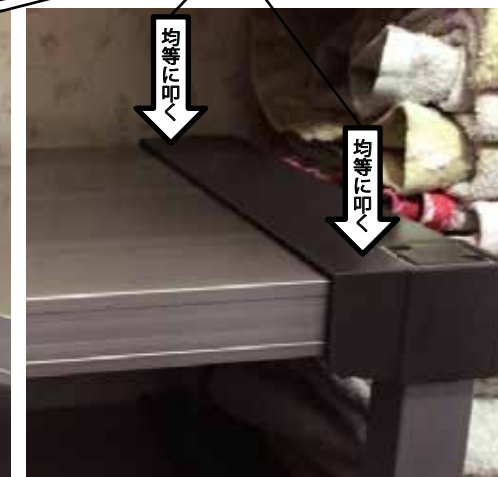
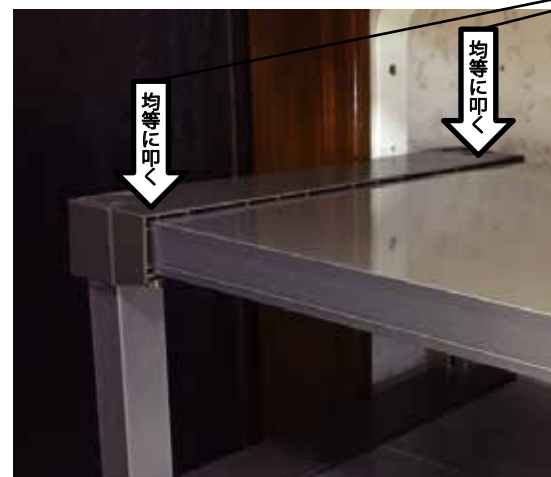
組立順序 3：棚板、フレームの固定



最後に左図のように棚板やフレームをハンマーで叩きアタッチメントブッシュが隠れるまで叩いて固定します。

注意）
棚板やフレームの固定は図のようにアタッチメントブッシュが完全に隠れた状態で完了です。
これ以上叩くと部材が破損しますので**絶対におやめください。**

注意）
棚板を固定する場合は 4 ヶ所を**順番に均等に**少しづつ叩いて**徐々に固定する**ようにしてください。
1 ヶ所のみを集中的に叩いて固定すると部材の破損を招く原因となりますので**絶対におやめください。**
フレームの場合は 2 ヶ所を交互に叩いて徐々に固定するようにしてください。
また指定の位置以外は部材の破損の原因になりますので**絶対に叩かないでください。**



指定の位置以外は叩かない事！

【外し方のポイント】

外す際は下図のように棚板やフレームのネジ頭をハンマーで叩き、組立時と逆の手順でアタッチメントブッシュから外します。

注意）
棚板を外す際には 1 ヶ所のみを集中的に叩いて外すと部材の破損を招く原因となりますので**絶対におやめください。** フレームの場合は 2 ヶ所を交互に叩いて徐々に外すようにしてください。
また指定の位置以外は部材の破損の原因になりますので**絶対に叩かないでください。**



外す際は組立てと逆の手順で均等に叩いて外していく事！



指定の位置以外は叩かない事！

「アルマット」について

Mr.Aluman では製品の組立に際しまして製品のキズ防止及び打音軽減の目的でアルマット（クッションマット）を付属させていただいておりますので、必要に応じてご活用いただければと思います。



アルマット
（クッションマット）